

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	5030320
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	下水道課	業務管理班

事業(予算)名	下水道公営企業会計適用事業
---------	---------------

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策3 市民の暮らしを支えるライフラインの充実						
	施策の展開	(3) 汚水対策の強化						
予算科目	会計	下水	款	1	項	1	目	1
関連計画・根拠法令等	平成27年1月27日付総務省大臣通達「公営企業会計の適用の推進について」							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H28	平成27年度から31年度まで集中取組期間とされている。			H30	平成31年度より公営企業会計制度適用		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	下水道事業は地方公営企業法の非適用となっているが、損益情報等をより正確に把握し、経営するために財務規定等の適用が求められている。						
	対象(誰・何を)	会計制度						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	下水道事業の経済的活動を正確に把握し、的確に経営するため、地方公営企業法を適用する。 実施に当たっては、資産情報の整理把握、会計システム等の導入、関係機関との連絡調整、条例規則の改正及び新規制定が必要となる。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
準備作業進捗状況	%	40	100			平成31年度の会計制度移行を円滑に行うため、重要な目途である。
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
下水道公営企業会計適用事業	都市建設部	下水道課	業務管理班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	準備作業進捗状況	%	—	—	100		
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
第三次実施計画	活動指標*	職員の研修	日	25	4	—	—
		資産情報の整理	%	50	80	—	—
				—	—	—	—
	成果指標*	準備作業進捗率	%	40	40	—	—
				—	—	—	—
				—	—	—	—

* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	職員の研修については、予定より減となっているが、H30年度中に公営企業会計制度についての研修及び新たに導入する会計システムを使用しての研修を予定している。 資産データについては、H29年度取得分までほぼ整理できた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	平成27年1月27日付総務省大臣通達「公営企業会計の適用の推進について」等により、人口5万人以上の自治体(下水道事業)は、平成32年度までには公営企業会計制度を導入しなければならない。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	○	事業コード	5030320
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分

継続

部等名	課等名	班等名
都市建設部	下水道課	建設班

事業(予算)名	下水道整備事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策3 市民の暮らしを支えるライフラインの充実						
	施策の展開	(3) 汚水対策の強化, (5) 下水道の利用促進						
予算科目	会計	下水	款	1	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	下水道法, 都市計画法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	S55				H36	公共下水道全体計画目標年次		

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	下水道整備率が依然として低い状況にあることから、整備率及び普及率の向上を図っているところであります。市街化区域及び、集中浄化槽の団地などからの下水道整備の要望があり、今後も整備を行うことが必要となっている。						
	対象 (誰・何を)	公共下水道計画区域内の市民、公共水域						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	市街化区域の未整備地区及び、集中浄化槽の団地等を中心に公共下水道の整備を行う。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	補助事業は、現場の施工管理等の資格者を有する千葉県下水道公社に委託して実施する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
普及率	%	60.1	60.8	61.2	61.7	公共下水道の整備を進めることで下水道区域が拡大することから、整備状況を把握する数値となるため。
整備率 (全体区域)	%	45.05	45.46	45.72	45.94	公共下水道の整備を進めることで下水道区域が拡大することから、整備状況を把握する数値となるため。
整備率 (認可区域)	%	88.48	89.28	89.8	90.23	公共下水道の整備を進めることで下水道区域が拡大することから、整備状況を把握する数値となるため。
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
公共下水道普及率 (全体計画)	%	54.7	58.4	公共下水道の整備を進めることが、暮らしを支えるライフラインの充実の一つの施策となるため。		
公共下水道整備率 (全体計画)	%	43.8	44.7	公共下水道の整備を進めることが、暮らしを支えるライフラインの充実の一つの施策となるため。		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
下水道整備事業	都市建設部	下水道課	建設班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	普及率	%	—	—	60.8		61.2		
	整備率(全体区域)	%	—	—	45.46		45.72		
	整備率(認可区域)	%	—	—	89.28		89.8		
第三次実施計画	活動指標*	工事による幹線・枝線延長	m	113,317	112,883	—	—	—	—
		整備面積	ha	498	499	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	公共下水道普及率	%	62	61	—	—	—	—
		公共下水道整備率(対全体計画)	%	46	46	—	—	—	—
		公共下水道整備率(対認可区域)	%	89	89	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	下水道計画区域内5.06ha区域「市街化区域(新木戸1.33ha)・隣接する市街化調整区域(東内野0.05ha)及び集中合併浄化槽を有する団地(東立沢3.68ha)」に下水道施設を整備。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	公共下水道の普及率の向上を図っているところであるが、全体計画における公共下水道の整備率は、50%を下回っていることから、計画区域内の集中合併浄化槽を有する団地の接続に向けて整備を進めていく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	5030420
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	下水道課	建設班

事業(予算)名	江川一号雨水幹線事業
---------	------------

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策3 市民の暮らしを支えるライフラインの充実						
	施策の展開	(4) 雨水対策の強化						
予算科目	会計	下水	款	1	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	下水道法, 都市計画法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				H36	公共下水道全体計画目標年次		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	近年、局地的、突発的に短時間で多量の雨が降るゲリラ豪雨が頻発していることなどから、治水対策の重要性は高まっており、早期の事業推進が望まれている。						
	対象(誰・何を)	江川上流水路流域住民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	浸水箇所の改善のため築堤工事により浸水被害の減少を図る。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	民間の土木業者に発注する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
築堤整備	%	0	100	—	—	工事の実施を目的とする
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
江川一号雨水幹線事業	都市建設部	下水道課	建設班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	築堤整備	%	—	—	100		
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
第三次実施計画	活動指標*	用地交渉	人	0	0	—	—
				—	—	—	—
				—	—	—	—
	成果指標*	用地取得率	%	65	65	—	—
				—	—	—	—
				—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	
		判断理由	江川一号雨水幹線事業は、平成28年度に築堤工事を実施したが、平成29年度には、予算措置がないため、平成29年度の評価は対象外と考える。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	平成28年度の築堤工事の実施により、江川上流水路脇の浸水被害は、改善されたが、台風や大雨などで、度々、水位が上がリ堤を越えそうになることから、築堤工事を平成30年度に実施する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	